

## 中国法定感染症発病概況 2018 年 5 月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.  
リサーチ・コンサルティング部門

### ■発病総数は例年より若干多い

当月発病総数は874,008例であり、前月比55.0%と大幅に増加。ただし、過去平均（過去3年の同月および前後月の9カ月平均）比では20.6%で、過去平均標準偏差（SD）1.3であり、5月に増加すること自体は過去の傾向と同様だが、総数としては例年より若干多い。（図表1）

### ■乙類は例年より大幅に増加、丙類は例年より若干多い

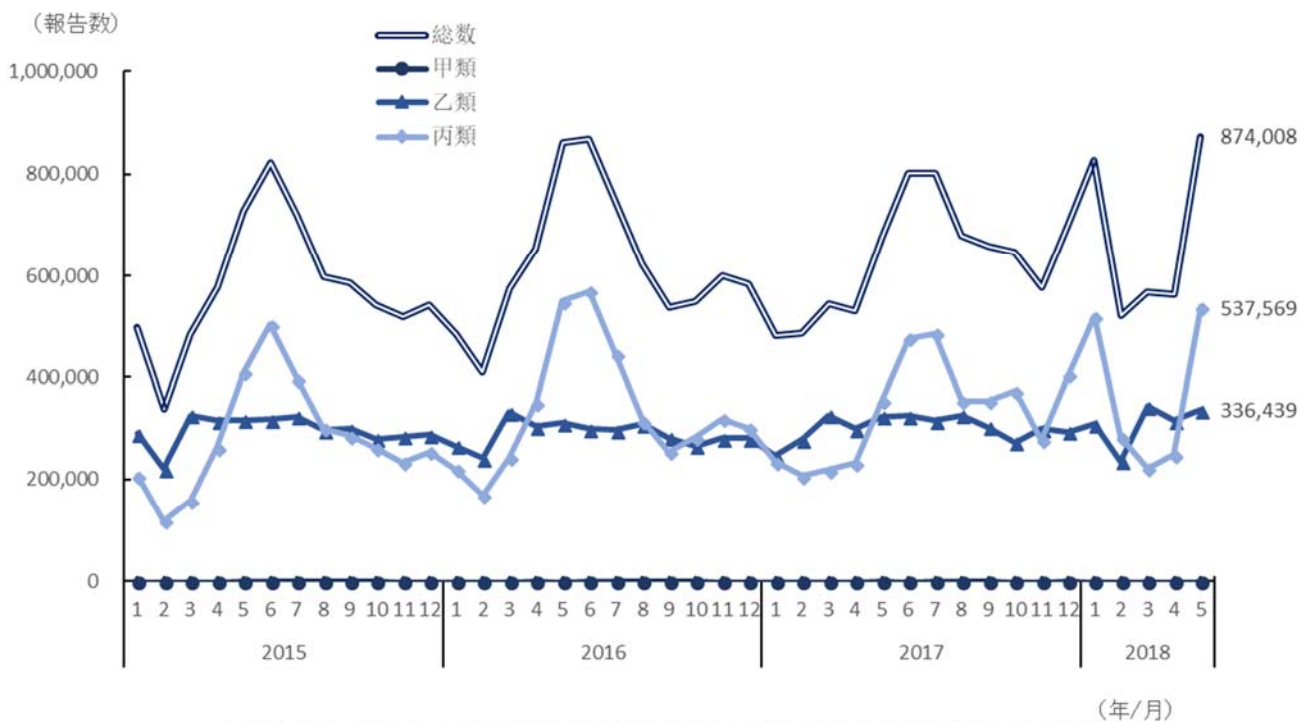
類型（甲乙丙）別\*では、甲類の発生はなし。

乙類は336,439例（前月比+6.6%）、過去平均比+7.6%、過去平均SD+2.6であり例年より大幅に多い。

丙類は537,569例（前月比+116.6%）、過去平均比+30.5%、過去平均SD+1.1と例年より若干多い。（図表1）

\*）中国では、病気のうち39の感染症を甲類2（ペスト、コレラ）、乙類26、丙類11に分類。2013年11月1日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザA(H7N9)を追加。2016年1月からは、ウイルス性肝炎の内訳にD型肝炎を追加。（本資料のウイルス性肝炎は、A型、B型、C型、D型、E型、その他肝炎を合算。）

図表1 発病数

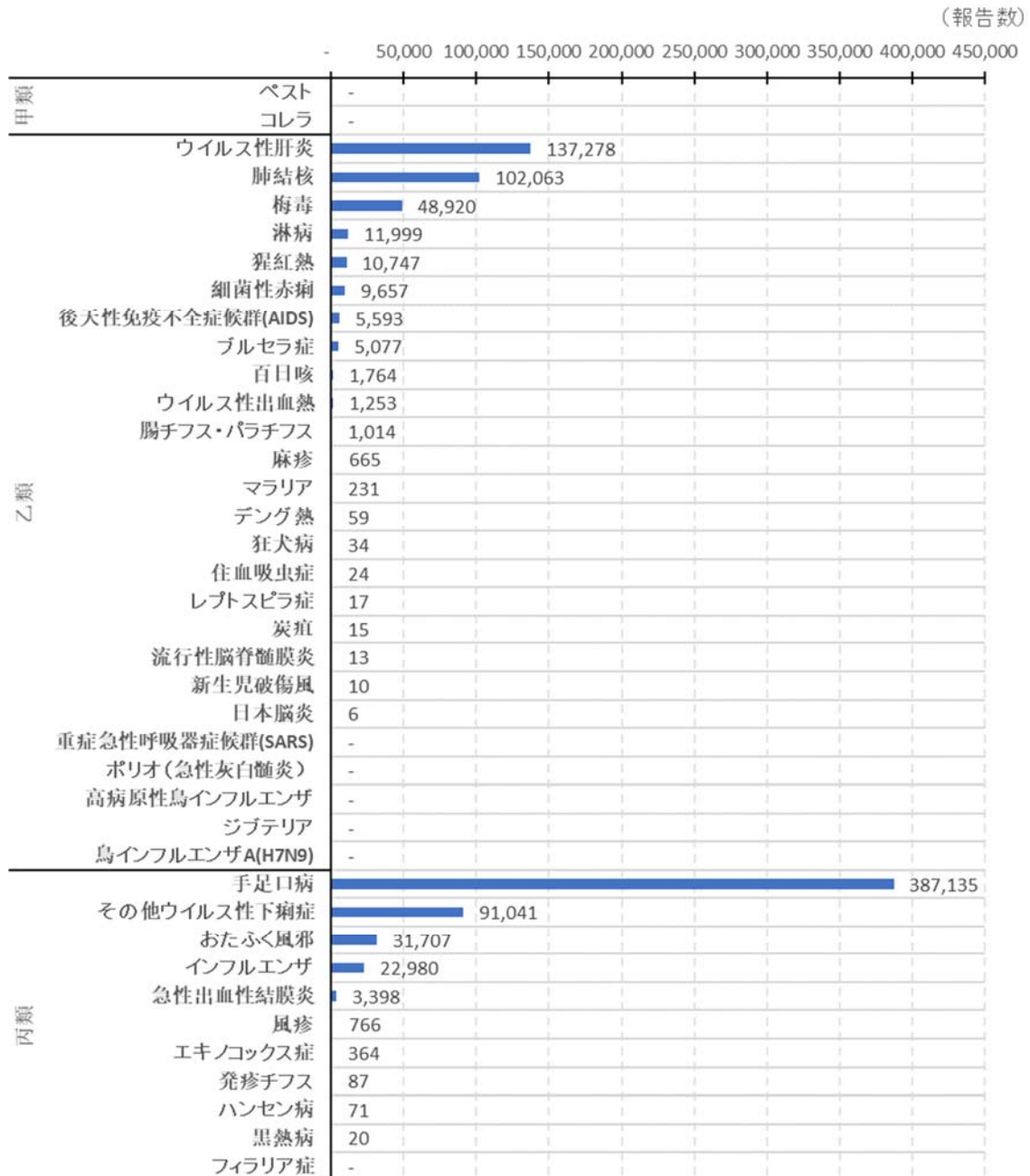


（資料）中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■「手足口病」が当月最多発生だが総数は例年同様

感染症別では、手足口病が387,135例であり、前月比+231.1%と増加し最も多く発生。しかし、過去平均比+34.7%、過去平均SD+0.9であり、発生数自体は例年同様（図表2、図表3）。

図表2 感染症別：発病数（当月）  
〈類型別降順〉

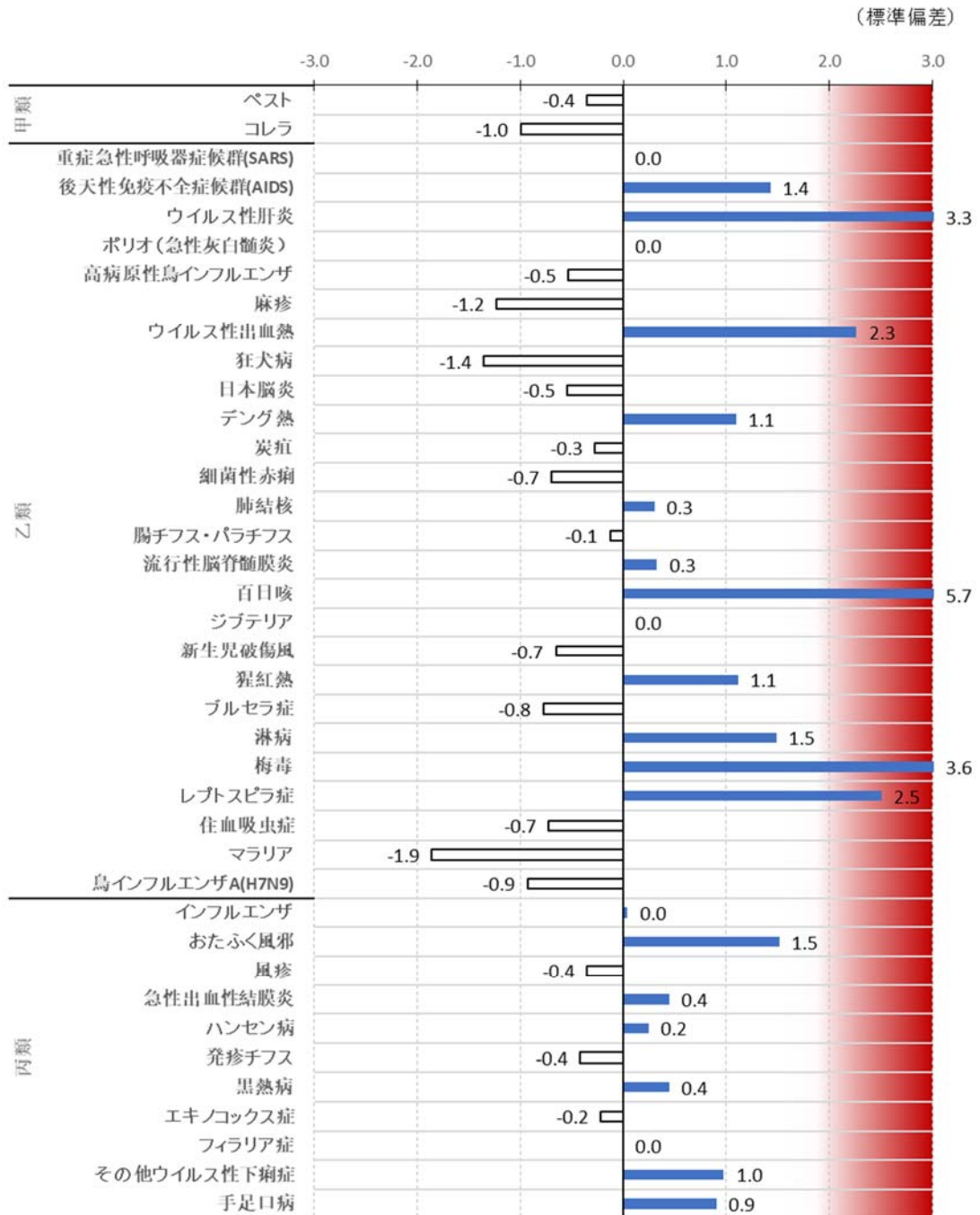


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■5つの感染症が例年に比べ非常に多く発生

例年に比べ非常に多く発生（過去平均SDが+2.0以上）した感染症は、百日咳、梅毒、ウイルス性肝炎、レプトスピラ症、ウイルス性出血熱。（図表3）。

図表3 感染症別：過去平均SD（当月）  
〈統計記載順〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成  
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD: 標準偏差

■百日咳: 13 カ月連続で例年より非常に多く発生

百日咳は1,764(前月比+0.3%)で、過去平均比+179.7%、過去平均SD+5.7であり、2017年5月から13カ月連続して、例年より非常に多く発生(図表4)。

図表4 発病数(百日咳)

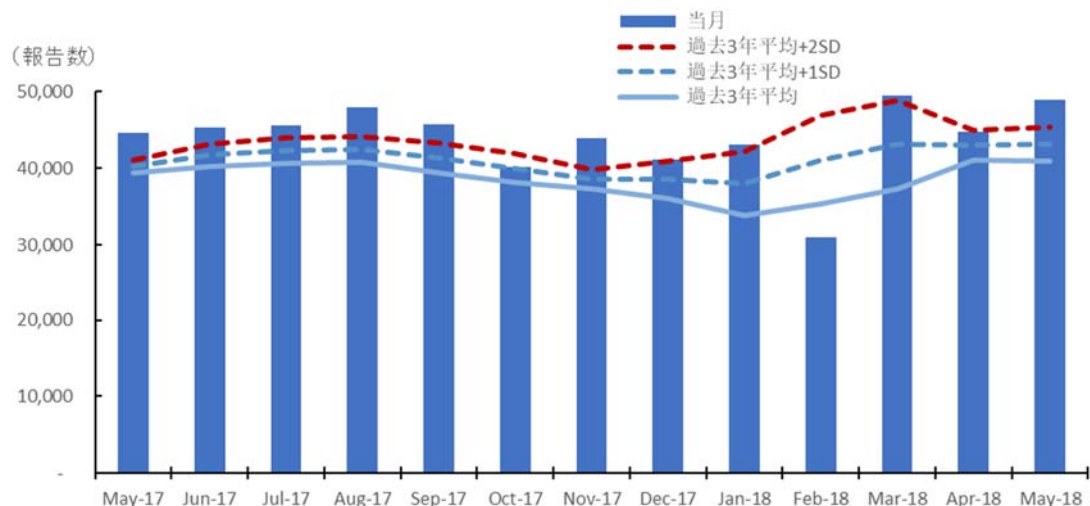


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成  
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■梅毒: 当月は例年より非常に多く発生

梅毒は48,920(前月比+9.4%)で、過去平均比+19.4%、過去平均SD+3.6であり、当月は例年より非常に多く発生(図表5)。

図表5 発病数(梅毒)



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成  
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

参考：発病統計表(2018年05月)

病名	発病数	病名	発病数
<b>甲乙丙類総計</b>	563,697		
<b>甲乙類合計</b>	315,564	<b>丙類合計</b>	<b>537,569</b>
ペスト	-	インフルエンザ	22,980
コレラ	-	おたふく風邪	31,707
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	風疹	766
後天性免疫不全症候群(AIDS)	4,642	急性出血性結膜炎	3,398
ウイルス性肝炎	134,147	ハンセン病	71
A型肝炎	1,368	発疹チフス	87
B型肝炎	106,398	黒熱病	20
C型肝炎	22,000	エキノコックス症	364
D型肝炎	38	フィラリア症	-
E型肝炎	2,807	その他ウイルス性下痢症	91,041
未分類型肝炎	1,536	手足口病	387,135
ポリオ(急性灰白髄炎)	-		
高病原性鳥インフルエンザ	-		
麻疹	587		
ウイルス性出血熱	959		
狂犬病	31		
日本脳炎	3		
デング熱	25		
炭疽	19		
細菌性赤痢	6,321		
肺結核	100,054		
腸チフス・パラチフス	731		
流行性脳脊髄膜炎	11		
百日咳	1,758		
ジブテリア	-		
新生児破傷風	6		
猩紅熱	6,784		
ブルセラ症	3,952		
淋病	10,549		
梅毒	44,733		
レプトスピラ症	5		
住血吸虫症	33		
マラリア	214		
鳥インフルエンザA(H7N9)	-		

(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2018年6月14日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。

中国法定感染症発病概況 2018年5月

Copyright (C) 2018 The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd. All Rights Reserved.